

那須塩原市新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託に係る
審査結果及び審査講評について

那須塩原市新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託に係る選定委員会
委員長 松岡 拓公雄

1. 事業者選定について

那須塩原市は、新庁舎建設基本設計・実施設計業務を行うにあたり、適切に業務を遂行することができる事業者を選定するため、那須塩原市新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託に係る選定委員会を設置し、公募型プロポーザルにより審査を実施した。厳正なる審査の結果、契約候補者及び次点者を特定した。

2. 審査結果

- (1) 契約候補者 安井・隈設計共同体
- (2) 次点者 株式会社久米設計

3. 選定までの経緯

実施日	項目
令和5年5月23日	公募型プロポーザルの公告
令和5年5月23日～6月2日	実施要領等に関する質疑受付
令和5年6月8日	実施要領等に関する質疑回答
令和5年6月8日～6月12日	参加申請書の受付
令和5年6月16日	一次審査
令和5年6月20日	一次審査結果の通知
令和5年7月18日～7月24日	技術提案書の受付
令和5年8月10日	二次審査（ヒアリング） 契約候補者及び次点者の特定
令和5年8月21日	審査結果の公表

4. 審査講評

本プロポーザルに参加したのは5者でありました。一次審査においては、業務実施方針の提案を求めました。二次審査においては、一次審査を通過した5者に「親しみやすい便利な庁舎」「交流によるまちづくりの拠点となる庁舎」「市民に開かれた庁舎」「那須塩原らしい庁舎」「防災拠点となり、市民の安全を守る庁舎」「環境負荷の低減に配慮し、気候変動に適応した経済的で効率的な庁舎」の6つの課題への提案を求め、的確性と実現性について評価しました。各者の提案は、いずれも豊富な経験に裏付けられた高い技術力で、新庁舎建設を通して那須塩原駅周辺まちづくりの将来像を実現しようという意欲と熱意を感じさせられるものでした。

契約候補者となりました安井・隈設計共同体は、本市を特徴づけたとした列状集落をイメージした短冊状の配置計画を提案し全体をまとめました。那須野ヶ原の田園パッチワークを模して地域に根差した新しいまちづくりの拠点を表現し、雨水涵養機能などを有する広場や、那須おろしを防ぐ屋敷林を配置するといった、この地域の必然的環境を再現しています。

特に、那須塩原市の地域ブランドである「経木」をモチーフにした庇のデザイン「キョウギルーフ」は、強い日差しや雨を遮り、柔らかい光と風が抜ける、半戸外的で快適な交流空間を生み出す配慮がなされていました。また、県産木材を利用することによって地域資源の有効利用が図られた計画となっています。さらに、その配置や外観は、那須連山を望む良好な眺望を確保し、景観と調和した提案でありました。

これらの提案が、選定委員から高く評価されました。

また、普段使いができ、アクティビティを誘発するパッチワーク状の「市民公園」は、様々なプログラムから市民が選択できる提案であり、市民活動が盛んな那須塩原市にとってさらなるコミュニティ活動の活性化を期待させるものでありました。市民の出会いと交流、活動の場の中心となり、この空間をきっかけに、市役所からまち全体に賑わいが広がってほしいと思います。

今後は、提案していただいた業務実施方針に従い、市民や職員の意見を取り入れながら、栃木県北の玄関口にふさわしい、そして「那須塩原らしい」新庁舎の実現に向けて、設計業務を進めることを期待します。

終わりに、本プロポーザルに参加いただきました皆様におかれましては、新庁舎と那須塩原市の未来に対し熱い思いをもって向き合い、貴重な時間を費やし真摯に取り組んでいただきましたことに対して、心から感謝を申し上げます。

5. 選定委員会委員名簿

	所 属 等	氏 名
委員長	滋賀県立大学名誉教授	松 岡 拓公雄
委員	筑波大学名誉教授	小場瀬 令 二
委員	宇都宮大学地域デザイン科学部准教授	石 井 大一朗
委員	那須塩原市副市長	藤 田 一 彦
委員	那須塩原市企画部長	黄 木 伸 一
委員	那須塩原市総務部長	後 藤 修
委員	那須塩原市建設部長	富 山 芳 男